

平成 22 年 11 月 1 日

公開シンポジウム（無料）開催のお知らせ

各 位

中国四国教育学会第 62 回大会準備委員会

来る平成 22 年 11 月 20 日・21 日の両日、香川大学教育学部において中国四国教育学会第 62 回大会が開催されます。その際下記のとおり、日本教育学会（四国地区）及び香川大学教育学部との共催により公開シンポジウムを開催しますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

教師に求められるコミュニケーション能力とは何か

【趣旨】：教師の資質能力の重要な柱として、コミュニケーション能力が位置していることは論をまたない。しかし教師の子ども・同僚・保護者とのコミュニケーションが困難さを抱えていること、そしてだからこそ教師のコミュニケーション能力の向上の必要性を指摘する声が増しに高まっている。つまり家庭や地域での教育力の低下、子どもたちの人間関係の希薄化が問題になる中で、教師のコミュニケーション能力のいっそうの向上が求められているのである。さて、それでは教師に求められるコミュニケーション(能力)とは何なのか。また、そのために、教員養成段階で、あるいは研修段階でどのような方策が考えられるのだろうか。教師のコミュニケーションをめぐる問題について、対応策自体の問題を含めて、その現状と課題について明らかにしていきたい。

【シンポジスト】

小林 正幸（東京学芸大学教職大学院教授・臨床心理学）

「子どものコミュニケーションの力を育むために教師に求められること」

（主著）『先生のためのやさしいソーシャルスキル教育』（ほんの森出版 2005）他

油布 佐和子（早稲田大学教職大学院教授・教育社会学）

「個人化する社会の教師 - 同僚関係・生徒との関係」

（主著）『転換期の教師』（日本放送出版協会 2007）他

小野田 正利（大阪大学大学院人間科学研究科教授・教育制度学）

「保護者を敵とみなさない - 教師の長所と短所そしてクセ -」

（主著）『ストップ！自子チュー』（旬報社 2010）（編著）『イチャモン研究会』（ミネルヴァ書房 2009）他

【指定討論者】：丸山 恭司（広島大学大学院教育学研究科准教授・教育哲学）

【司会】：櫻井 佳樹（香川大学教育学部教授）

毛利 猛（香川大学教育学部教授・香川大学教育学部附属高松中学校長）

【日時】 2010年11月20日（土）： 14時30分～17時15分

【会場】 香川大学教育学部 415 講義室

【問い合わせ先】 香川大学教育学部櫻井研究室（電話：087-832-1532

メール：sakurai@ed.kagawa-u.ac.jp）

【主催】中国四国教育学会 【共催】日本教育学会（四国地区）・香川大学教育学部

*なお、車での入構は、できませんので、ご了承ください。